

多読支援のための授業活動と 創作プロジェクト

池田庸子（茨城大学）

発表の概要

1. 多読授業の概要

- (1) 多読授業の位置づけ
- (2) 使用教材と教室
- (3) シラバス
- (4) 受講学生
- (5) 授業のスケジュールと流れ

2. 多読本の創作

1. 多読授業の概要

(1) 多読授業の位置づけ

茨城大学 日本語研修コース

主に交換留学生のための授業（日本語授業+専門科目（英語・日本語））

各レベルの概要

レベル		JLPT目安と 主な教材
レベル 1	初級前半	～N5 『げんき1』
レベル 2	初級後半	～N4 『げんき2』
レベル 3	中級前半	～N3 『みんなの日本語中級 I 』
レベル 4	中級後半	～N2 『みんなの日本語中級 II 』 など
レベル 5	上級	～N1

レベル3とレベル4の授業内訳（週1回 90分授業x15週）

レベル 3	総合	総合	総合	総合	漢字	多読で学ぶ日本語
レベル 4	総合	総合	漢字	口頭表現	日本事情	

1. 多読授業の概要

(2) 使用教材と教室

教材：

- ・日本語多読ライブラリー／日本語多読ボックス
- ・児童書など
- ・自作教材
- ・過去の学生の作品

教室：

- ・日本語授業用教室に図書を置く

オンライン授業（2020年度）

- ・無料のオンライン素材の紹介
- ・KinoDen（図書館に電子書籍）

1. 多読授業の概要

(2) 使用教材と教室



KinoDenは、紀伊國屋書店が提供する学術和書電子図書館サービスです。読みやすいビューア、未購入タイトルも含めた全文検索、試し読み・リクエスト機能など、長年の経験を活かし「本当に使われる電子図書館」をご提供致します。

No.KD0068 2019年11月

図書館様
留学生センター様
留学生担当教員様

NPO多言語多読が監修する
日本語学習者のための

精選98タイトル
同時アクセス1
167,970円(本体価)
※1点からご購入可

日本語多読の電子書籍

Japanese Graded Readers

朗読音声あり*

レベル別日本語多読ライブラリー
にほんごよむよむ文庫
アスク出版



日本語学習者のための(レベル別読みもの)
にほんご多読ボックス
大修館書店



1. 多読授業の概要

(3) シラバス

授業名：「多読で学ぶ日本語」

授業時間：週1回（90分授業）× 15週

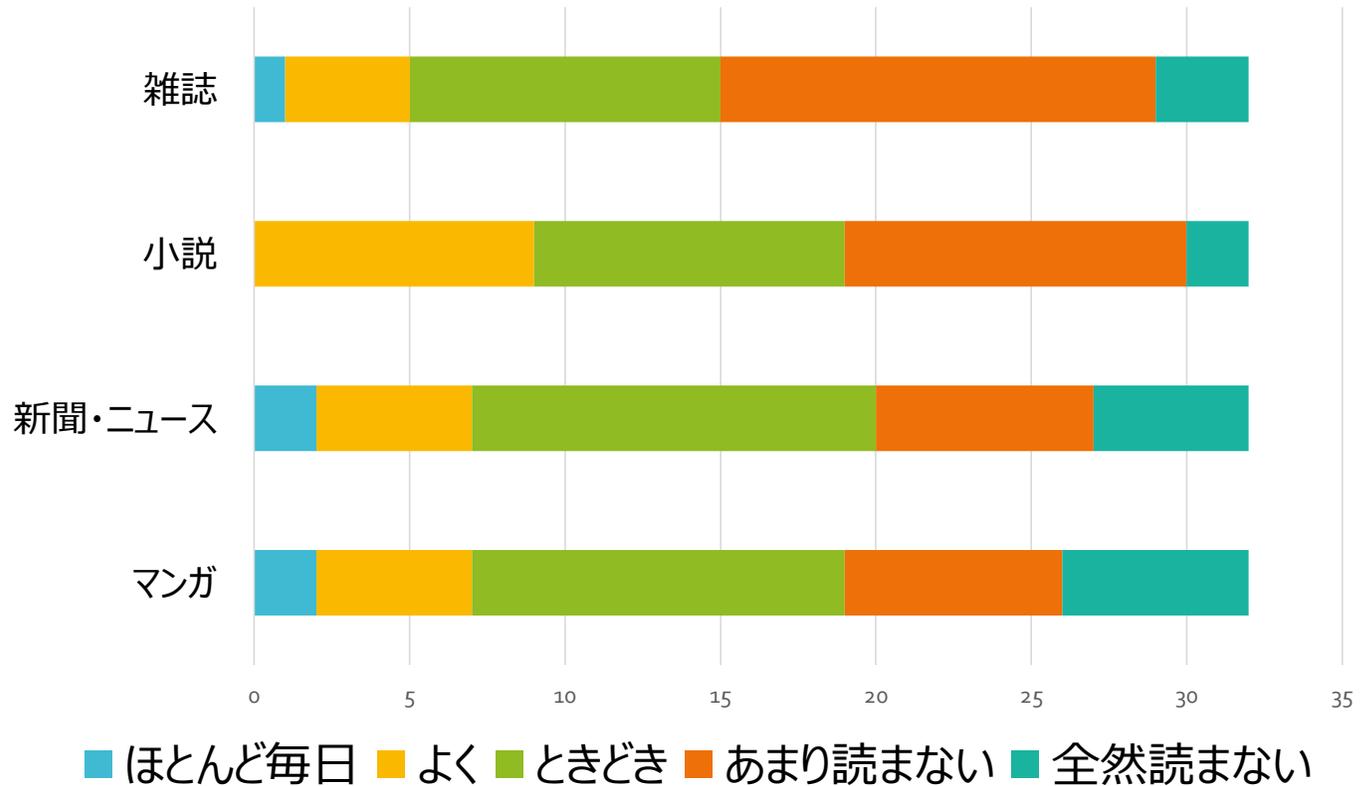
評価：

- ・ 読書記録（時間と量とコメント）…… 40%
*読書記録をもとに毎週10点満点で評価
- ・ ブックレポート（2回） …………… 20%
- ・ 多読本の創作…………… 25%
- ・ 授業参加度…………… 15%

学習者の読む習慣（授業初日アンケート）

所属大学：インドネシア、タイ、韓国、米国、マレーシア

母語で読みますか（2学期分32人）



読書習慣がない学生が少なくない

1. 多読授業の概要 (4) 受講学生

1. 多読授業の概要

(5) 授業スケジュール

授業	授業内	課題（授業外）
1	オリエンテーション、多読授業について	
2	授業内多読＊	授業外多読 (読書記録の記入)
3		
4		
5		
6	ブックレポートの提出と発表①	授業外多読・レポート作成
7	授業内多読＊	授業外多読 (読書記録の記入)
8		
9		
10		
11	ブックレポートの提出と発表②	授業外多読・レポート作成
12	授業内多読	創作本第1稿提出
13	授業内多読、創作物語の推敲	創作本第2稿提出
14	授業内多読、創作物語の推敲	創作本最終稿提出
15	創作本を読む	

1. 多読授業の概要

(5) 授業スケジュール

授業中の活動（90分）

(1) 前活動 約15分	【話す】 ①3～4人のグループ内で、各自1冊紹介 ②お勧めの1冊をグループで選ぶ ③グループの1冊をクラス全体に紹介
(2) 多読 約60分	【読む（+少し書く）】 <ul style="list-style-type: none">本を読む （読書記録に短いコメントを書く） <p>→読書が苦手な学生は長い間読めない：徐々に長くする</p>
(3) 後活動 約15分	【話す・聞く】 <ul style="list-style-type: none">小グループで、授業中に読んだ本からお勧め本を紹介読み聞かせなども時々行う

【話す活動について】

- ・ クラスメイトに話す→そのために内容やキーワードを意識して読む
- ・ クラスメイトから勧められる→読む動機付けが高まる
- ・ 読んだ本が増えてくる→本の紹介だけでなく、感想を共有しあえる

2. 本の創作

多読本創作プロジェクトの概要

- 一つ下のレベルの学生用に多読本を書く（難しい表現は使わない）
- オリジナル作品でも、知っている作品のリライトでもよい
- イラストをつける。必ずしも自分で描く必要はない。
- 手順 ① 第1稿を提出（イラストなし）⇒ 教師と学生が面談して修正
② 第2稿の提出（イラスト付き）⇒ 教師が修正
③ 最終稿提出 ⇒ 教師がコピー機で製本
④ 授業でクラスで読みコメントをし合う
- 評価の観点：
 - ・オリジナリティ（自分の言葉で書いているか）
 - ・内容
 - ・長さ（レベルにより 1500字～2500字）
 - ・提出期日（3回あり）
 - ・フォーマットと引用・参考文献の記載

ベッキーとピーマン (タイの学生作品)

学生の作品

食事中…

ベッキーが不満そうな顔をしながら言った。「ピーマンの肉詰め!! またピーマンだ。ヤダな」

ベッキーはピーマンが一番嫌いだから「なんで美味しい肉をわざわざピーマンの中に詰め込むんだろう」と考えた。

「私はお父さんに食べてもらったほうがいいな」ベッキーは考えた。

すると、ベッキーはお父さんにピーマンをあげようとして、お母さんに見られてしまった。

「ちゃんと食べて! ベッキーちゃん」ママが怒ったような声で言った。



2

「だって、私はピーマンが嫌いなんだ。なんでこんなものを食べなければならないの?」ベッキーは不満そうな声で言った。

「ピーマンは体にいいわよ。栄養価も高いから」ママは言った。

「パパのように健康のために、ちゃんと食べてね」パパは言った。



3

学生の作品



冊子にして多読文庫へ

5. 本の創作

多読本を書く時、多読したことが役に立ちましたか。

そう思う	まあそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない
6	4	0	0	0

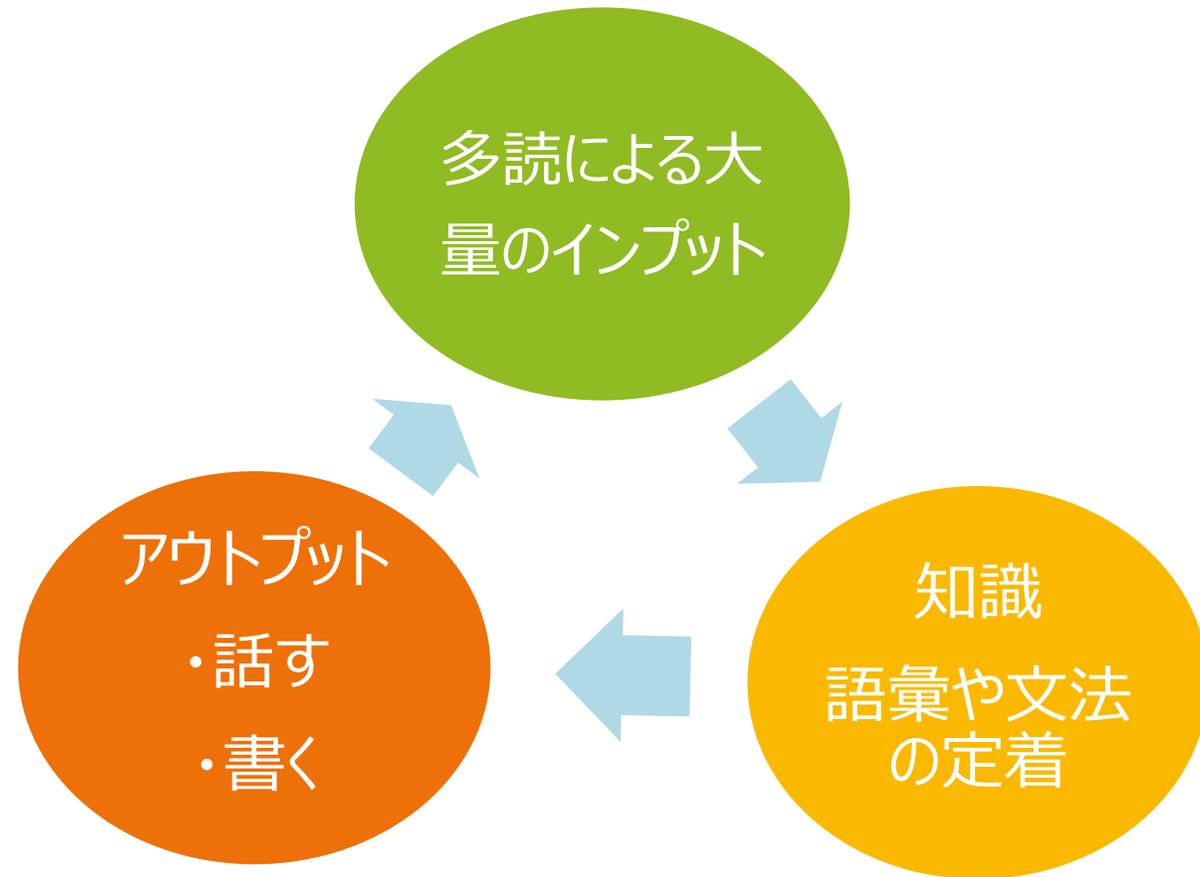
どのように役に立ちましたか。

- 他の物語の中で文法やフォーマットなど学んだ後、私の物語を作る役に立ちました。
- 単語が増えたから、書くのは思ったより難しくなかった。
- 物語の文法がもっとわかりました。
- 本を作ることがおもしろくなって、もっと多く本を読みたくくなりました。

5. 多読本の創作

なぜ多読本創作をしようと思ったか

- 多読の目的を「読解力」の向上だけに絞るのはもったいない
- アウトプットがさらなるインプット（多読）の動機付けになる



5. 多読本の創作

多読本創作プロジェクトをしてみても…

- 多読で得たことを**創造的に表現**する機会となる
- **文体や役割語**をより意識するようになる
- 目に見える**成果物**として残る（学生の達成感、教師にとって評価の対象）
- 学習者自身で**多読文庫を充実**させていく継続的なプロジェクトとなりうる。

“Extensive reading need a big tent” (Nation & Waring, 2020)

⇒ 多様な活動、他の技能との関係性など、多読の周辺の自由度を高めることで多読プログラムに取り組みやすくなる

参考文献

ご清聴ありがとうございました。

メールアドレス : yoko.ikeda.6@vc.ibaraki.ac.jp

- 池田庸子「多読から創作へ:—中級日本語学習者を対象とした多読授業における試み—」『日本語教育方法研究会誌』25(1), 8-9, 2018
- 池田庸子「日本語多読授業における学習者の自己評価」『茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究』3, 45-52
- Nation, I. S. P., & Waring, R.(2020) *Teaching Extensive Reading in Another Language*. New York: Routledge.
- Day R. R., Bamford, J.(1998) *Extensive Reading in the Second Language Classroom*. Cambridge.